

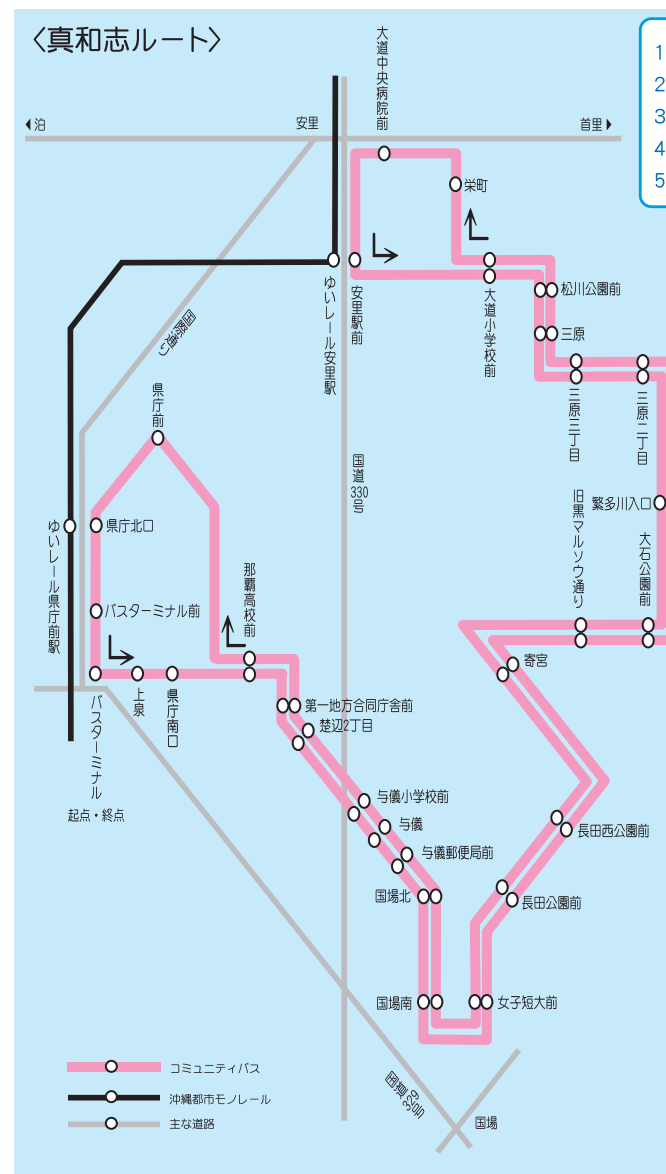
市では、「第4回世界のウチナンチュ大会」の関連事業として、「那覇市いちやばチヨードー交流パーティー」と「ふるさとナーファ巡り」を開催し、世界各国から訪れたナーファンチュのみなさんを歓迎しました。

10月13日にぶんかテンプス館4階デンスホールで行われた「那覇市いちやばチヨードー交流パーティー」には、世界のウチナンチュ大会に参加するため海外から来沖された市出身のみなさん約230名と、多くの市民・市関係者が参加。なふあちゅとナーファンチュが一緒に歌って余興やエイサーに声援や歓声を上げるなど、和やかな雰囲気で行われたパーティーの最後には、参加者全員でカチャーシーを踊り互いの交流を深めました。

市では、これらの事業を通して、移住者世代の功績に敬意を表すとともに、2世・3世といった次世代の人材と、市民・市関係者との交流を図り、世界に広がるナーファンチュネットワークの発展を目指していきます。

那覇市いちやばチヨードー交流パーティー「ふるさとナーファ巡り」については、平和交流・男女参画室 ☎8615195

今回の実証実験運行は、公共交通利用不便地域と市中心部およびモノレール駅の結びつきを強める真和志ルートとモノレール駅および周辺商業施設（小禄駅前、赤嶺駅前）などの結びつきを強める小禄ルートの2ルート



真和志ルート

1. 実証実験期間 平成18年11月6日～平成19年2月(予定)

2. 運行時間 午前6時30分～午後9時(予定)

3. 運行ピッチ 20～30分間隔程度

4. 運賃 大人200円 子人100円

5. 使用するバス 小型バス

小禄ルート(さつき小経由、具志経由)

1. 実証実験期間 平成18年11月～平成19年2月(予定)

2. 運行時間 午前6時40分～午後9時(予定)

3. 運行ピッチ さつき小経由20分間隔程度、具志経由30分間隔程度

4. 運賃 大人150円 子人80円

5. 使用するバス 中型バス

市では、誰もが安心して住みよいまちづくりを目指しています。

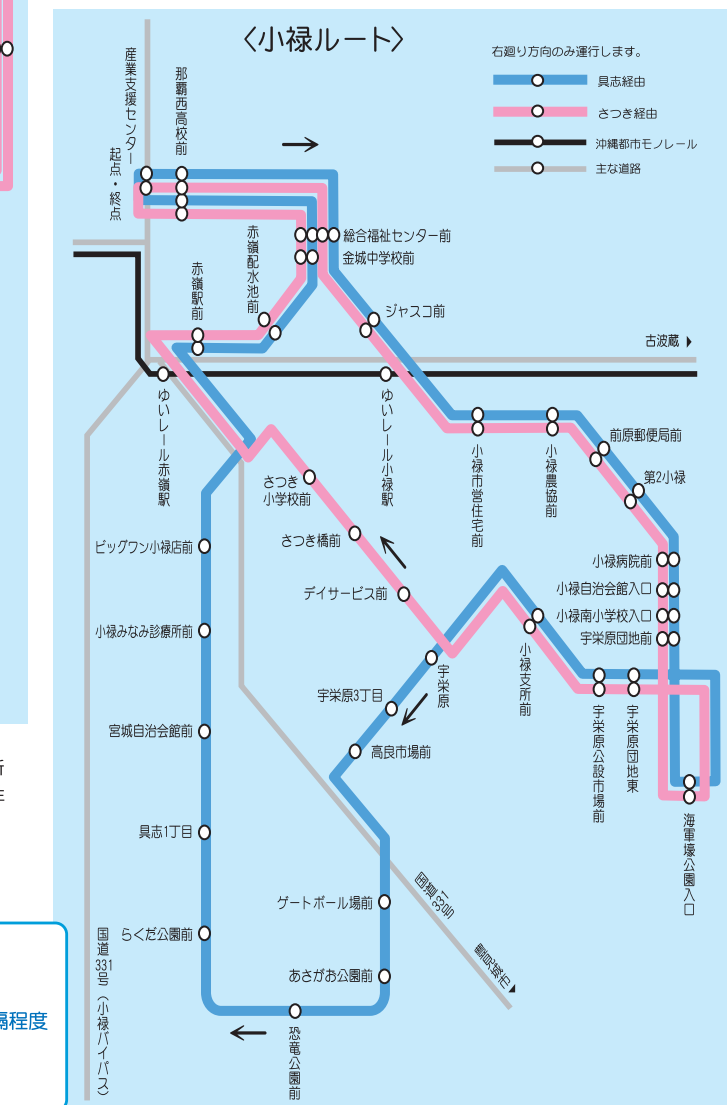
その一環として、自家用車からモノレールやバスなどの公共交通機関への転換を図り、交通渋滞の緩和及び交通事故を減少させることにより、円滑な都市交通体系の構築を目指す必要があります。

現在、市内には、既存のバス停やモノレール駅などから遠い、いわゆる交通不便地域が少なからずあります。このことから、住宅地と公共施設、医療施設、商店街、モノレール駅やバス停などを結び地域のみなさんの利便性の向上と、公共交通機関の利用促進を図ることを目的に実証実験を行います。

今回の実証実験では、バスの乗客数や運行ルート、運行間隔などの情報を収集・分析し、バス事業者による本格運行に向けて可能性を検討していきます。多くの市民のみなさんに利用していただきたいと願っております。

コミュニティバスを導入することにより、お年寄りや体の不自由な方々など移動に制約のある方々にとっても、極力利用しやすいバス交通とし、その外出意欲を高め、寝たきり予防策の一助となる。また、自家用車の減少と交通渋滞の緩和を図り、市民の安全を確保することで、交通事故防止に寄与できることが期待できます。

今回の実証実験運行は、公共交通利用不便地域と市中心部およびモノレール駅の結びつきを強める真和志ルートとモノレール駅および周辺商業施設（小禄駅前、赤嶺駅前）などの結びつきを強める小禄ルートの2ルート



市では、個性を活かした美しいまちづくりを進めるため、那覇の歴史性と地域性豊かな都市景観を「まもり・そだて・つくる」ことを目的に、昭和60年に都市景観条例を制定し、都市景観に著しく寄与している建築物を「都市景観賞」として表彰しています。

第14回の今年度は、以下の4件に決定しました。

景観賞に選ばれた4件は、いずれも地域に潤いと安らぎを与え、美しい那覇の景観を形成する上で手本となるもので、その波及効果が大きく期待されています。

お問い合わせ
都市計画課
☎9513246

住民基本台帳法の一部を改正する法律により、平成18年11月1日からは、営利を目的とした住民基本台帳の一部の写しの閲覧はできません。詳しくは市民課へお問い合わせください。 ☎862-3274 市民課

おかえりなさい 世界のナーファンチュ

第4回世界のウチナンチュ大会那覇市関連事業

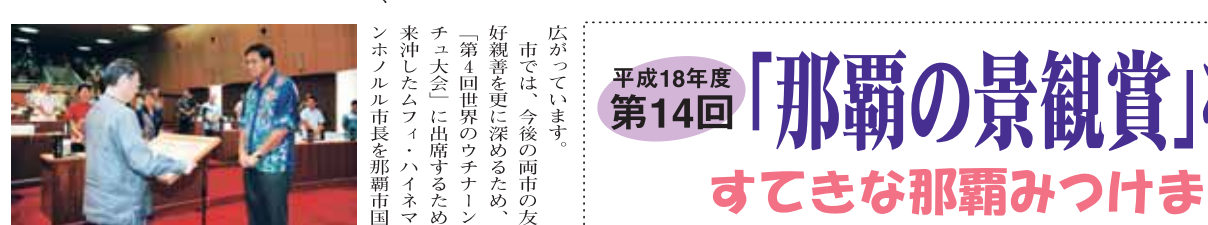


市では、今後の両市の友好親善を更に深めるため、「第4回世界のウチナンチュ大会」に出席するため来沖したムフィ・ハイネマン・ホルル市長を那覇市国際親善名誉市民に任命しました。

また、姉妹都市締結25周年を記念して始まった「NANA HAMA」は、いまや国内を代表する一大スポーツイベントとなり、毎年、多くのジョガー、ボランティア、沿道から声援をおくる人々の感動と友情の輪が広がっています。

市では、今後の両市の友好親善を更に深めるため、「第4回世界のウチナンチュ大会」に出席するため来沖したムフィ・ハイネマン・ホルル市長を那覇市国際親善名誉市民に任命しました。

また、姉妹都市締結25周年を記念して始まった「NANA HAMA」は、いまや国内を代表する一大スポーツイベントとなり、毎年、多くのジョガー、ボランティア、沿道から声援をおくる人々の感動と友情の輪が広がっています。

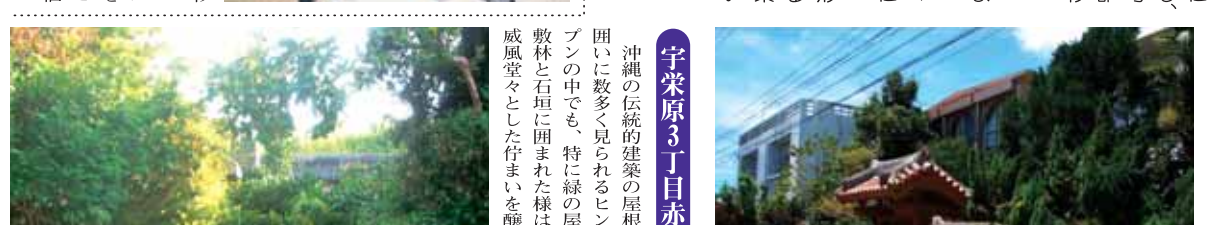


市では、個性を活かした美しいまちづくりを進めるため、那覇の歴史性と地域性豊かな都市景観を「まもり・そだて・つくる」ことを目的に、昭和60年に都市景観条例を制定し、都市景観に著しく寄与している建築物を「都市景観賞」として表彰しています。

第14回の今年度は、以下の4件に決定しました。

景観賞に選ばれた4件は、いずれも地域に潤いと安らぎを与え、美しい那覇の景観を形成する上で手本となるもので、その波及効果が大きく期待されています。

お問い合わせ
都市計画課
☎9513246

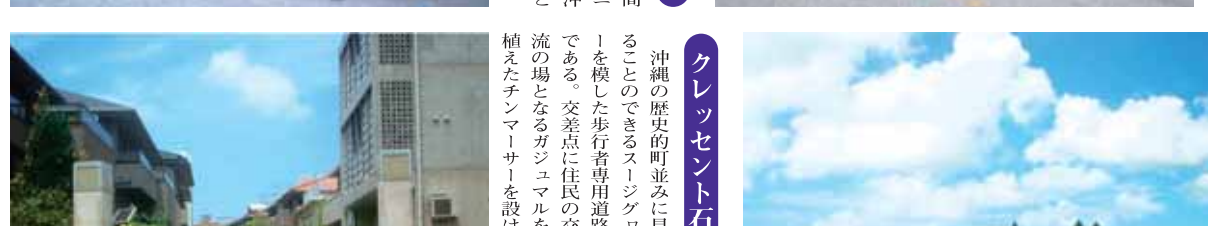


市では、今後の両市の友好親善を更に深めるため、「第4回世界のウチナンチュ大会」に出席するため来沖したムフィ・ハイネマン・ホルル市長を那覇市国際親善名誉市民に任命しました。

また、姉妹都市締結25周年を記念して始まった「NANA HAMA」は、いまや国内を代表する一大スポーツイベントとなり、毎年、多くのジョガー、ボランティア、沿道から声援をおくる人々の感動と友情の輪が広がっています。

市では、今後の両市の友好親善を更に深めるため、「第4回世界のウチナンチュ大会」に出席するため来沖したムフィ・ハイネマン・ホルル市長を那覇市国際親善名誉市民に任命しました。

また、姉妹都市締結25周年を記念して始まった「NANA HAMA」は、いまや国内を代表する一大スポーツイベントとなり、毎年、多くのジョガー、ボランティア、沿道から声援をおくる人々の感動と友情の輪が広がっています。



市では、今後の両市の友好親善を更に深めるため、「第4回世界のウチナンチュ大会」に出席するため来沖したムフィ・ハイネマン・ホルル市長を那覇市国際親善名誉市民に任命しました。

また、姉妹都市締結25周年を記念して始まった「NANA HAMA」は、いまや国内を代表する一大スポーツイベントとなり、毎年、多くのジョガー、ボランティア、沿道から声援をおくる人々の感動と友情の輪が広がっています。

市では、今後の両市の友好親善を更に深めるため、「第4回世界のウチナンチュ大会」に出席するため来沖したムフィ・ハイネマン・ホルル市長を那覇市国際親善名誉市民に任命しました。

また、姉妹都市締結25周年を記念して始まった「NANA HAMA」は、いまや国内を代表する一大スポーツイベントとなり、毎年、多くのジョガー、ボランティア、沿道から声援をおくる人々の感動と友情の輪が広がっています。

市では、「第4回世界のウチナンチュ大会」の関連事業として、「那覇市いちやばチヨードー交流パーティー」と「ふるさとナーファ巡り」を開催し、世界各国から訪れたナーファンチュのみなさんを歓迎しました。

10月13日にぶんかテンプス館4階デンスホールで行われた「那覇市いちやばチヨードー交流パーティー」には、世界のウチナンチュ大会に参加するため海外から来沖された市出身のみなさん約230名と、多くの市民・市関係者が参加。なふあちゅとナーファンチュが一緒に歌って余興やエイサーに声援や歓声を上げるなど、和やかな雰囲気で行われたパーティーの最後には、参加者全員でカチャーシーを踊り互いの交流を深めました。

市では、これらの事業を通して、移住者世代の功績に敬意を表すとともに、2世・3世といった次世代の人材と、市民・市関係者との交流を図り、世界に広がるナーファンチュネットワークの発展を目指していきます。

那覇市いちやばチヨードー交流パーティー「ふるさとナーファ巡り」については、平和交流・男女参画室 ☎8615195

今回の実証実験運行は、公共交通利用不便地域と市中心部およびモノレール駅の結びつきを強める真和志ルートとモノレール駅および周辺商業施設（小禄駅前、赤嶺駅前）などの結びつきを強める小禄ルートの2ルート

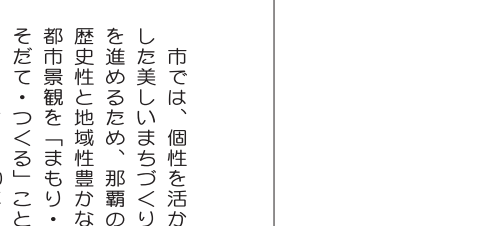


市では、今後の両市の友好親善を更に深めるため、「第4回世界のウチナンチュ大会」に出席するため来沖したムフィ・ハイネマン・ホルル市長を那覇市国際親善名誉市民に任命しました。

また、姉妹都市締結25周年を記念して始まった「NANA HAMA」は、いまや国内を代表する一大スポーツイベントとなり、毎年、多くのジョガー、ボランティア、沿道から声援をおくる人々の感動と友情の輪が広がっています。

市では、今後の両市の友好親善を更に深めるため、「第4回世界のウチナンチュ大会」に出席するため来沖したムフィ・ハイネマン・ホルル市長を那覇市国際親善名誉市民に任命しました。

また、姉妹都市締結25周年を記念して始まった「NANA HAMA」は、いまや国内を代表する一大スポーツイベントとなり、毎年、多くのジョガー、ボランティア、沿道から声援をおくる人々の感動と友情の輪が広がっています。

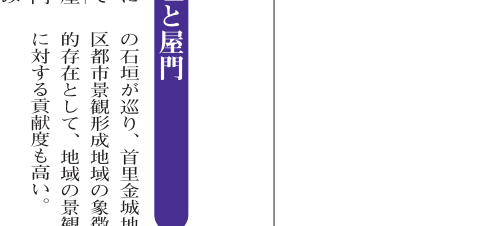


市では、今後の両市の友好親善を更に深めるため、「第4回世界のウチナンチュ大会」に出席するため来沖したムフィ・ハイネマン・ホルル市長を那覇市国際親善名誉市民に任命しました。

また、姉妹都市締結25周年を記念して始まった「NANA HAMA」は、いまや国内を代表する一大スポーツイベントとなり、毎年、多くのジョガー、ボランティア、沿道から声援をおくる人々の感動と友情の輪が広がっています。

市では、今後の両市の友好親善を更に深めるため、「第4回世界のウチナンチュ大会」に出席するため来沖したムフィ・ハイネマン・ホルル市長を那覇市国際親善名誉市民に任命しました。

また、姉妹都市締結25周年を記念して始まった「NANA HAMA」は、いまや国内を代表する一大スポーツイベントとなり、毎年、多くのジョガー、ボランティア、沿道から声援をおくる人々の感動と友情の輪が広がっています。

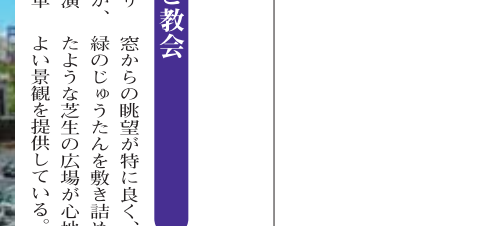


市では、今後の両市の友好親善を更に深めるため、「第4回世界のウチナンチュ大会」に出席するため来沖したムフィ・ハイネマン・ホルル市長を那覇市国際親善名誉市民に任命しました。

また、姉妹都市締結25周年を記念して始まった「NANA HAMA」は、いまや国内を代表する一大スポーツイベントとなり、毎年、多くのジョガー、ボランティア、沿道から声援をおくる人々の感動と友情の輪が広がっています。

市では、今後の両市の友好親善を更に深めるため、「第4回世界のウチナンチュ大会」に出席するため来沖したムフィ・ハイネマン・ホルル市長を那覇市国際親善名誉市民に任命しました。

また、姉妹都市締結25周年を記念して始まった「NANA HAMA」は、いまや国内を代表する一大スポーツイベントとなり、毎年、多くのジョガー、ボランティア、沿道から声援をおくる人々の感動と友情の輪が広がっています。



市では、今後の両市の友好親善を更に深めるため、「第4回世界のウチナンチュ大会」に出席するため来沖したムフィ・ハイネマン・ホルル市長を那覇市国際親善名誉市民に任命しました。

また、姉妹都市締結25周年を記念して始まった「NANA HAMA」は、いまや国内を代表する一大スポーツイベントとなり、毎年、多くのジョガー、ボランティア、沿道から声援をおくる人々の感動と友情の輪が広がっています。

市では、今後の両市の友好親善を更に深めるため、「第4回世界のウチナンチュ大会」に出席するため来沖したムフィ・ハイネマン・ホルル市長を那覇市国際親善名誉市民に任命しました。

また、姉妹都市締結25周年を記念して始まった「NANA HAMA」は、いまや国内を代表する一大スポーツイベントとなり、毎年、多くのジョガー、ボランティア、沿道から声援をおくる人々の感動と友情の輪が広がっています。